禁転載複製	D27
当日配付	
試験終了後公開	

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
３級 フラワー装飾 学科試験問題
（フラワー装飾作業）

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ. 一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ. 答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　ヴィクトリアン様式とは、イギリスの美術様式のことである。

2　母の日にカーネーションを贈る風習は、日本が発祥である。

3　トライアンギュラーは、方向を示す用語である。

4　バスケットアレンジメントの作品の展開は、180°でなければならない。

5　色相環で隣り合う色は、補色の関係にある。

6　トーンオントーンとは、同じ色相で、明度差を大きく変化させた配色のことである。

7　枝物を吸水フォームに挿す場合、先端をV字形にカットするとしっかり留まる。

8　花束の結束には、フローラルテープを巻いたワイヤを使用しなければならない。

9　コサージに使用する草花の生花には、前もって十分な吸水が必要である。

10　ナチュラルステムを束ねた花束は、ブライダルブーケとして使用できない。

11　吸水フォームは水に浮いてしまうため、水面下まで手で押さえて吸水させるとよい。

12　カーネーションは、一般に、フォームフラワーである。

13　アレンジメントの製作で吸水フォームを器に固定するときは、できるだけ力を入れて圧縮するとよい。

14　リースは、起源によれば、吊して飾らなければならない。

15　着席形式のパーティーでテーブルの中央に飾る花は、視界に入るように、着席時の目線と同じ高さのものがよい。

16　ブートニアは、本来、花嫁のブーケと同じ花材の一輪を使用して製作する。

17　フルーツで作るポマンダーのベースには、リンゴが最も適している。

18　プリザーブドフラワーは、染料が色移りしやすいので、ブーケやブートニアに使用してはならない。

19　アレンジメントを製作する場合、吸水フォームは、デザインに合わせて面取りするとよい。

20　フローリストナイフは、一般に、ハサミよりも茎の導管がつぶれにくく、花もちがよい。

21　アンスリウムは、低温で乾燥を好む植物である。

22　エゾリンドウは、日本原産の植物である。

23　現在、花の品種改良で最も行われている方法は、遺伝子組換えである。

24　グラジオラスは、バラ科の植物である。

25　チューリップは、キキョウ科の植物である。

26　ソメイヨシノは、バラ科の植物である。

27　アヤメは、水生植物である。

28　色付いたチューリップの鉢は、日が当たる暖かい場所に陳列すると、花が長もちする。

29　クレマチスの水揚げでは、ハンマーなどで茎の先を叩くとよい。

30　ハサミやナイフは、常に、刃こぼれ、汚れ、錆（さび）などに気を配って清潔にし、切れ味を保つように手入れをしておく。